

農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

 (19) 農業融資専門部署の新設と農業者支援
JAぎふ（岐阜県）

新規	継続
○	
	(平成 年 月)

1 動機 (経緯)	農協改革の議論の中で、農業者に対するJAの役割が、これまでの営農経済部門を中心とした関係性だけでなく、信用事業を含めた総合的な関係性の構築・深化を求められていることを受け対応したものです。
2 概要	平成 28 年度より、「農業金融サポート室」（金融部金融推進課内）を設置し、率先した資金対応と営業店のサポートを行います。 (1) 総合的な相談機能の確立 部門間連携による情報共有（営農経済・信用等）を強化し、農業者の様々な相談に対しスピード感を持って対応できる体制を本支店間に確立いたします。 (2) 金融面での対応力強化 農業者の潜在的な金融ニーズを引き出し当該ニーズに応じた提案を強化する。 また、営業店職員の農業金融の専門知識を深めさせるなか、意識改革を図ります。
3 成果 (効果)	多様化する資金ニーズに対応するために、新たに農業経営サポート資金（あぐりサムライ）を創設し、事業性を評価する融資対応を行いました（同資金の実行件数 35 件、309 百万円）。 部門間連携には積極的に取組み、特に営農経済部門とは定期的に情報共有することで、同部署担当職員と担い手訪問担当者が同行訪問する等のJA一体となった支援を行いました。 これらの取組みにより、平成 28 年度の農業融資実行件数は 119 件（前年対比 270% 増）、実行金額 593 百万円でした。
4 今後の予定（課題）	同部署担当職員が積極的な訪問活動を行い、農業者との対話の中から資金ニーズを探ることで、設備投資や運転資金等の相談に対応いたします。農業機械等の少額借入に対しては、手続きを簡素化し、迅速な融資対応が可能な新資金を開発いたします。商品ラインナップを充実させることで、多様なニーズに応えます。 また、若手の経営者を対象に、農業経営、労務管理等の勉強会、個別診断を開催し、全面的な農業経営のサポートを行います。